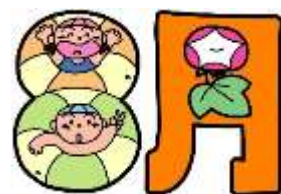


花岡公民館だより

発行 花岡公民館 電話 43-7124 FAX 46-2201

令和4年



長寿大学6月学習会 大森山動物園



長寿大学6月の学習では、秋田市の大森山動物園への研修を計画しましたが、予想以上に希望者が多く、2回に分けての開催となりました。

1回目は6月28日に16名が参加。この日は時折、激しい雨が降ったりと、心配な空模様でしたが、「ブルーメッ

セあきた」に着いた時には、不思議と雨が上がり、動物園でも傘を差さずに見学することが出来ました。(皆さんの日ごろの行いが雨雲を吹き飛ばしたのではと思いました)

2回目は7月5日に開催し、19名が参加しました。この日は秋田市での最高気温が31℃と、晴男と晴女が集結したような天気で、強い日差しの中での見学となりましたが、参加された皆さんは、何年かぶりの動物園を楽しんでいました。

(今回の館外研修で訪れた大森山動物園は、昭和48年9月1日に開園し、ゾウやキリン、ライオンなど92種類、536点もの動物が飼育されています。是非皆さんも一度見学されてみてはいかがでしょうか)

日差しが強すぎて、日陰に隠れての集合写真となりました。



窓清掃ありがとうございました！

7月19日に花岡小学校の児童と民生委員の方々が公民館の窓を掃除してくれました。雨やほこりで汚れた網戸やガラスを洗剤で洗い流し、内側も綺麗にさせていただきました。本当にありがとうございました。



館長雑感

「自由と規律」

安倍元首相が凶弾に倒れたことは、49年前、アメリカのケネディ大統領暗殺事件を彷彿させるものがありました。人間には「したくてもしてはならないこと」と、「したくなくても、しなければならぬこと」があり、人間が社会的存在であり、すべての人間が共存していくためには避けられないことです。その判断の基準になるのが、慣習、法令、道徳であり、自らの欲求をそれに基づいて抑制できる人にはじめて人間の自由が生まれるのだと思います。「人に迷惑をかけなければ何をやってもいい」とか「まわりにいる人たちは自分が知らない人だから関係ない」という感覚の人がいるのも事実です。

「自由」は個人にとっても社会生活においても基本的に尊重されるべきですが、往々にして、これが放任や身勝手気ままと誤って認識され、はき違えられてしまうことがあり、自己中心の無責任な行動が日常生活に広く及んで様々な問題を起こしています。規律があってこそ自由が生まれ、規律を回復して自由と調和を図っていくことが大切です。

「しつけ」には、「礼儀作法を身につけさせる」と「縫い目を正しく整えるためにぎっと縫いつけておく」という二つの意味があります。カんで「厳しく」しなくても「躰」の字の如く、「身を美しく見せるには」を模索しながら、気楽に考え、気張らずに美しいという方向に「仮にぎっとやってみる」ということで人間関係を深めながら取り組んでいけばいいと思います。

暑い夏、コロナの感染者も急激に増えてきています。感染予防に気を配りながら美しい秋を迎えたいものです。

花岡公民館 館長 伊勢 善和



花矢図書館から



新着図書

一般書が「美しい歳のととり方は『介護の現場』が教えてくれた」、「最後まで在宅おひとりさまで機嫌よく」、「なるほど天気と気象」、「服育のすすめ」、「苗で決まる！自然菜園」、「人生はごちそう」、「夜に星を放つ」です。

児童書が「ぬいぐるみきゅうじょたい」、「フロロンどろん」、「まって！まって！」、「小学生のための世界地図帳」、「びっくり図書館」、「クロケのジャムとももらか草」、「すねこたんぱん」です。

開館時間 火～金 9～19時 土・日 9～17時 休館日：月・祝日

花矢図書館：☎ 46-1557

